

銅 賞

福童浄化センターで学んだこと

尾籠 美穂 里

大刀洗町立 菊池小学校

わたしは、社会科見学で福童浄化センターに行きました。そこで、初めて知ったことや分かったことがたくさんありました。

最初にDVDを見ました。そこで初めて、「活性くん」という生き物が、水をきれいにしていることを知りました。「活性くん」は生き物で、よごれた水が流れてくると、その「活性くん」が水のよごれを食べてきれいにしてくれるのです。「活性くん」は生きていますので、生きるために必要な空気が、配かんを通って送られてきます。よごれを食べた「活性くん」は、おなかいっぱいになると、水の下のほうにずんずん落ちていくことも分かりました。わたしは、この福童浄化センターに行く前は、び生物である「活性くん」を使って水のよごれをきれいにしているなんて予想もしていなかったのです、とてもおどろきました。

次に、実際に建物の中を見学しました。センターの中には、中央かんし室という部屋がありました。センターの心ぞうのようなものだから、機械の調子や川の水を見て、異常を見つけたり、そうさしたりするそうです。休みなく、二十四時間、三人で交代しながら行っているそうです、びっくりしました。次に行った部屋では、水をきれいにする仕組みについて説明してくれました。よごれた水をきれいにするには、いろいろな沈殿池や反応タンクなどを通り、一日もかけてきれいにしていることが分かりました。また、おなかいっぱいになった

「活性くん」は下にしずむのですが、その一部はかんそうし、焼いてレンガになることも知りました。再利用されているのです。

社会科の学習で、「水のじゅんかん」のことを勉強しました。この福童浄化センターの見学でも、水の再利用のことを知りました。水は海や川などの水がじょう発して雲になり、雨が降ってダムから流れ、わたしたちが生活で使う水として流れてきます。使った後のよごれた水も、きれいにして川に流れ、また、くり返し、もどってくるのです。

今回の見学で、新しく知ったことがたくさんありました。これから、水を大切に使用していきたいと強く思いました。